

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について(2025 年度)

当社は、取締役及び監査役を対象に、2025 年度の取締役会の実効性に関する評価を実施しましたので、その評価結果の概要をお知らせします。

【取締役会評価実施要領】

対 象 者	取締役 8 名(うち非業務執行取締役 5 名(含 独立社外取締役 3 名)) 監査役 3 名(うち社外監査役 2 名(含 独立社外監査役 1 名)) 計 11 名
実施期間	2025 年 2 月 28 日～3 月 21 日
実施方法	対象者に対し、記名式でアンケートを実施 事務局にて回答を集計
質問内容	以下の 9 つの大項目に関する事項(設問数 17 問) ① 取締役会の構成と運営 ② 戦略と実行 ③ リスクと危機管理 ④ 企業倫理 ⑤ 業績のモニタリング ⑥ グループガバナンス ⑦ 経営陣の評価・報酬 ⑧ 株主との対話 ⑨ 取締役会にて議論すべきテーマ
評価方法	対象者の回答内容に基づき、取締役及び監査役において分析・評価を実施

【評価結果の概要及び評価結果から抽出された取締役会の実効性改善のための課題について】

評価の結果、重要事項に関しては事前説明や議長からの補足説明が充実しており、円滑な議論が促進されています。議長のファシリテートにより、質疑応答だけでなく多様な意見交換が増加し、十分な議論が実現されています。一方で、急速に事業環境が変化する状況下において、中核人材戦略やグローバル戦略、事業ポートフォリオ変革について、更なる議論の充実を図るべきとの意見がありました。

今回の結果を踏まえて、特に評価結果の改善に向けて検討していく内容は、下記のとおりとなります。

1. 戦略と実行

戦略と実行においては、中期経営計画 2025 に基づく事業推進が行われている一方で、人的資本経営の推進や新領域開拓による事業ポートフォリオの変革等、業務執行部門との連携を強化し、取締役会における議論の一層の活性化を図ること。

2. リスクと危機管理

リスクマップによる可視化や定期的なアップデート、対応課題の洗い出しは適切に行われている一方で、海外子会社を含むグループ全体のリスク把握や対応状況のモニタリングに関して、取締役会への情報共有を一層充実させること。

3. グループガバナンス

持続的な事業領域拡大を目指し、国内および海外の当社グループ各社のガバナンスを強化するとともに、グループ会社・関連会社とのシナジーを最大化するための戦略に関して、外部環境の変化を踏まえた議論の深度を更に深めること。

今回の取締役会評価の結果を参考にしつつ、当社が置かれた経営環境を踏まえた最適なコーポレート・ガバナンス体制を構築すべく、引き続き改善を続けてまいります。

以上